

## 兵庫県尼崎市でタイワンタケクマバチを採集

上森教慈

タイワンタケクマバチ *Xylocopa tranquebarorum* (Swederus, 1787) は台湾, 中国に生息するクマバチの仲間、竹に孔を開けて営巣する。本来日本に生息しない種だが、2007年に愛知県と岐阜県から初めて報告され(矢田, 2007), その後福井県(室田, 2017; 田埜・黒川, 2017)や石川県(石川, 2018), 滋賀(南, 2017)からも報告されており、台湾, もしくは中国からの人為的移入と考えられている。

兵庫県からの正式な記録はなかったが、筆者は今回、尼崎市の西武庫公園にて本種を採集したため報告する。本個体は公園内の花壇のサルビアに訪花しているところを採集した。筆者は十数年この公園を訪れており、また2015年から2017年にかけてはハチの調査を行った(上森, 2017)が、本種を発見したことはなかった。



図1. タイワンタケクマバチ  
1 ♀, 22. VIII. 2018, 筆者採集・保管

## ○引用文献

- 石川卓弥, 2018. タイワンタケクマバチを石川県で初記録. 月刊むし, (571): 50.  
上森教慈, 2017. 兵庫県尼崎市の都市公園におけるハチ相. きべりはむし, 40 (1): 4-8  
田埜正・黒川秀吉, 2017. タイワンタケクマバチ福井に住む (1). つねきばち, (31): 31.  
南 尊演, 2017. タケクマバチ滋賀県で採集. Nature Study, 63(2): (21) 9.  
室田忠男, 2017. 福井県におけるタイワンタケクマバチの分布について. つねきばち, (31): 23.  
矢田直樹, 2007. 愛知県と岐阜県におけるタイワンクマバチの採集記録. 月刊むし, (439): 39-40.

(Kazushige UEMORI 九州大学農学部)

## 神戸市須磨区でニッポンハナダカバチを採集

三木巴月

ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* は環境省レッドリスト 2018 絶滅危惧Ⅱ類 (VU), 兵庫県版レッドリスト 2012 Cランクに指定されており、神戸市内でも採集例が少ないと思われる。筆者は神戸市須磨区内で高島(2015)に続き本種を観察、採集したので、ここに報告する。

2exs., 2018年7月1日 神戸市須磨区須磨寺町3丁目 須磨寺公園 三木巴月採集

当日の正午頃、街区公園である須磨寺公園内の砂場とその周辺を飛翔する本種を多数目撃した。同定の為にその場で2個体を採集した。その後、連日の大雨の影響を心配し、同月14日午後4時頃再び観察に行くと数個体、観察することができた。

中峰(2015)にもあるように、ニッポンハナダカバチは本来、河川敷や海浜の砂地などに生息、営巣し兵庫県内では日本海側と淡路島南部で生息が確認されている。前記2例の報告や今回の観察のように、本種の都市部での営巣には、公園や学校などの人工的な砂場を利用していると考えられる。今後もこの場所での本種の生息に期待したいが、街区公園内の砂場であり利用者も多いため、砂場利用者の快適性を考えると本種の継続はたいへん難しいように思われる。このことは前記2例と同様に、都市部での生物多様性を考えさせられる事例であると思われる。なぜ須磨海岸で本種が確認できず、街区公園である近隣の公園の砂場で営巣するのかを考察していきたい。今後の観察および考察の結果次第では本種の保全に繋がると考えられる。

発表を勧めていただいた山本勝也氏に御礼申しあげる。

## ○参考文献

- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進推進室, 2018. 環境省レッドリスト 2018: 25.  
高島孝夫, 2015. 神戸市須磨区に発生していたニッポンハナダカバチ. きべりはむし, 37(2): 65.  
中峰 空, 2015. 兵庫県三田市西部の小学校敷地内でニッポンハナダカバチが発生. きべりはむし, 37(2): 66.  
寺山守・須田博久(編), 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑. 東海大学出版部.

(Hazuki MIKI 兵庫県明石市)